

小原宿は片継ぎの宿場

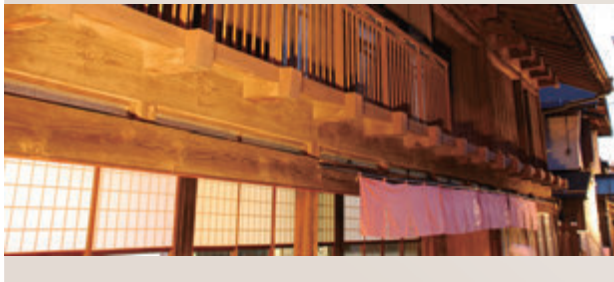


江戸時代になって甲州街道の宿場が整えられました。

この小原宿は、江戸から9番目の宿場で、小仏峠の前にして重要な宿場でした。

小原宿は、片継ぎの宿場（小仏宿から来た人や荷物を、与瀬宿を通り越して吉野宿まで継ぎ立、その代わりに江戸の方へ、与瀬宿から小原宿を通り越して小仏宿へ継ぎ立てました。）として特殊な継ぎ立てをしました。

旅籠は7軒あり、一般の旅人のほかに、富士山や身延山にお詣りする講の人々も多く泊まりました。



本陣は大名の宿



写真「小原宿本陣祭:大名行列」11月3日(文化の日)

本陣とは、江戸時代初期、参勤交代が行われるようになって、大名行列をしながら江戸と領国との間を往復する時、大名が泊る宿のことを言います。

小原宿本陣は、清水家の建物が使われました。この本陣を利用したのは、信州の高島藩、高遠藩、飯田藩の大名と甲府勤番の役人でした。

この本陣に泊まりきれない家来たちは、脇本陣や旅籠に分かれて泊まりました。大名の宿であった本陣という建物は、神奈川県下では、東海道と甲州街道で合わせて26



軒ありましたが、現在建物として残っているのは、小原宿本陣1軒だけとなり、大変貴重な建物です。



神奈川県指定重要文化財(平成八年二月十三日)
相模原市景観重要建造物(平成二十四年十一月一日)

- お問い合わせ 市教育委員会文化財保護課 電話:042-769-8371
小原宿本陣 電話:042-684-4780
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、以後の直近の平日)
年末年始(12月29日～翌年1月4日)
- 開館時間 9時30分～16時
- 所在地 〒252-0173 相模原市緑区小原698-1

発行日:2019年2月
発行元:小原宿活性化推進会議



本陣の見どころ

【イベント情報】 小原宿本陣祭 11月3日(文化の日)開催
 重要な歴史的資源を地域の活性化につなげるとともに、江戸時代の歴史文化を後世に伝えていくために開かれる祭りです。当日は「大名行列」や本陣の庭での野点が行われます。

【むかしの道具】
 小原宿本陣には、江戸時代に使用されていた貴重な道具などが展示されています。むかしの道具は、2階に展示しており、間近でご覧になって歴史を感じましょう。



清水家
 古くから小原に住み、小原宿の名主・間屋を務めるとともに、本陣として大名の定宿となっていました。



上段の間
 大名が泊まった部屋で、二間の床の間と燈床があり、庭の眺めが一番良い部屋です。



築山
 上段の間から眺めが良くなるように造られた庭園で、徳川家より拝領のドウダンツツジや泰山木などが植えられています。



本陣一階



本陣一階

厠(かわや)
 畳敷き大名専用トイレ。下は砂箱の引き出し式になっていて殿様の健康状態を知ることができました。



本陣二階

駕籠(かご)
 小原宿から吉野宿まで、主に庶民を乗せた竹編みの軽いかごです。坂道でも使えるように作られています。



石臼(いしうす)
 小麦やそばを粉にしたり、大麦を粗い粒に割ったりする石うすです。五穀を粉にする農民の必需品でした。



千歯(せんば)
 脱穀(だっこく)機のひとつで、歯の部分に麦や稲かけて引き、粉(もみ)をはずします。



長持(御用書物)
 名主をしていた清水家では、小原宿の税金や幕府への書類をこの長持に入れて船で江戸へ運びました。



機織(はたおり)
 清水家では、蚕(かいこ)からとった糸を使い、この機織で絹の布を織りました。



おひつ入れ
 おひつの中のごはんが冷めないように束にしたわらを円形状に巻き上げ、すっぽり入る深さまで編んであります。

